

rplasia(IPEH)の1例. 診断病理, 19(4);315-318, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 高川 清, 高野康雄, 宮原龍郎, 早川慎二郎, 小泉富美朝, 笹原正清: イタイイタイ病剖検例腎組織およびCd投与ラット腎組織のマイクロビーム蛍光X線分析. 第91回日本病理学会総会, 2002, 3, 横浜.
- 2) Zhao Ying Luan, 高川 清, 尾矢剛志, 大和田幸嗣, 川口 誠, 石井陽子, 古田 勲, 笹原正清: 末梢神経再生過程における活性化型Srcの発現とその細胞骨格への移行に関する研究. 第91回日本病理学会総会, 2002, 3, 横浜.
- 3) 尾矢剛志, 野上重治, 石井陽子, 大森義明, 高川 清, 川口 誠, 笹原正清: 骨盤・腹腔内に発生した神経外胚葉への分化と骨形成を伴う小細胞肉腫の一例. 第91回日本病理学会総会, 2002, 3, 横浜.
- 4) 石井陽子, 川口 誠, 笹原正清: 胎生期ラットの神経上皮層におけるATBF1の発現の解析. 第91回日本病理学会, 2002, 3, 横浜.
- 5) 川口 誠, 石井陽子, 笹原正清: Multiple Homeodomain-Zinc Finger転写因子ATBF1の正常発達ラット中枢神経系における発現. 第43回日本神経病理学会, 2002, 5, 東京.
- 6) 火爪健一, 本吉 愛, 古野利夫, 伊藤雅之, 石井陽子, 若木邦彦, 田中 裕, 岩城光造, 堀 隆: 左側胆嚢, 十二指腸前門脈, 膵尾部欠損症, 腸回転異常症を伴った総胆管結石症の一例. 第57回日本消化器外科学会, 2002, 7, 京都.
- 7) 山下重幸, 一木克之, 土岐善紀, 津田基晴, 三崎拓郎, 三原 弘, 矢田 豊, 折原正周, 村上純, 高川 清, 笹原正清: 悪性リンパ腫を合併した乳癌の一例. 第38回中部外科学会総会, 2002, 9, 岐阜.
- 8) 松井一裕: 肺 Lymphangioliomyomatosis (LAM) の病理組織学的特徴-LAM Histologic Score (LHS) について. 第91回日本病理学会総会, 2002, 3, 横浜.

◆ その他

- 1) 藤坂志帆, 山崎 夕, 五十嵐保史, 沢崎茂樹, 多喜博文, 菓子井達彦, 三輪敏郎, 浅井政嗣, 笹原正清, 清水正司, 瀬戸 光, 杉山英二, 小林正: FDG-PETが経過観察に有用であったWegener肉芽腫瘍の一例. 第37回北陸臨床免疫・症例検討/研究会, 2002, 6, 石川.

感 染 予 防 医 学

教 授 舟 田 久
助 教 授 安 岡 彰
(前)助教授 上 村 清
(前)助 手 松 瀬 俱 子

◆ 研究概要

院内感染症の発生メカニズムと制御に関する研究.
HIV感染症の病態解明および治療に関する研究. 敗血症に関する研究.

◆ 著 書

- 1) 安岡 彰: HIV感染症, 今日の治療指針2002, 129-130, 2002.
- 2) 安岡 彰, (坂口美季): カリニ肺炎, 呼吸器疾患の治療と看護, 211-212, 2002.
- 3) 安岡 彰, 岡 慎一: カリニ肺炎, 呼吸器病New Approach6 肺感染症, 123-129, 2002.

◆ 原 著

- 1) Ida S, Tachikawa N, Nakajima A, Daikoku M, Yano M, Kikuchi Y, Yasuoka A, Kimura S and Oka S.: Influence of human immunodeficiency virus type 1 infection on acute hepatitis A virus infection, Clin Infect Dis, 34, 379-385, 2002.
- 2) 稲葉淳一, 永松あかり, 箕浦茂樹, 宮澤広文, 安岡 彰, 岡 慎一, 帖佐 徹: シミュレーションにより検討した日本における最適なHIV母子感染予防対策, 日本エイズ学会誌, 4:27-36, 2002.

◆ 症例報告

- 1) Kikuchi Y, Genka I, Ishizaki A, Sunagawa K, Yasuoka A and Oka S.: Serious bradyarrhythmia that was possibly induced by Lopinavir-Ritonavir in 2 patients with acquired immunodeficiency syndrome, Clin Infect Dis, 35, 488-490, 2002.

◆ 総 説

- 1) 安岡 彰: 針刺し事故防止に向けて, 3. 血液暴露後の職業感染防止対策について, 感染症学雑誌, 76, 864-868, 2002.
- 2) 安岡 彰: 誰でもわかる遺伝子検査, 12. ニューモシスチス・カリニ, 検査と技術, 30, 1053-1056, 2002.
- 3) 安岡 彰: 血液媒介感染症; 針刺し事故防止, 臨床看護, 28, 1550-1556, 2002.
- 4) 安岡 彰: エイズ2001-2002, 合併症-日和見感染, 悪性腫瘍, 感染症, 32, 117-123, 2002.

- 5) 安岡 彰：抗HIV療法の課題，日本臨床，60，750-756，2002.
- 6) 安岡 彰：トキソプラズマ症の診断と治療，Modern Physician，2002.
- 7) 安岡 彰：原因微生物別抗菌薬療法，カリニ，サイトメガロウイルス，臨床医，28，201-204，2002.
- 8) 安岡 彰：日和見感染の管理，感染と抗菌薬，5，240-244，2002.

◆ 学会報告

- 1) 安岡 彰：抗HIV療法中の問題点とその対処
 2. 乳酸アシドーシスとギラン・バレー症候群類似症状，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 2) 石崎有澄美，源河いくみ，中島由紀子，菊池 嘉，川田真幹，砂川恵伸，田沼順子，矢崎博久，照屋勝治，立川夏夫，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：当科で経験したヒストプラズマ症の2例，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.
- 2) 永松あかり，服部里佳，稲葉淳一，箕浦茂樹，田沼順子，源河いくみ，菊池 嘉，安岡 彰，岡 慎一：日本HIV陽性女性における膣・頸管分泌物中のHIVウイルス量について，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 3) 服部里佳，永松あかり，五味淵秀人，箕浦茂樹，源河いくみ，照屋勝治，立川夏夫，安岡 彰，菊池 嘉，岡 慎一：HIV感染者における子宮頸部異形成とヒトパピローマウイルス(HPV)感染，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 4) 上田晃弘，吉田邦仁子，田沼順子，矢崎博久，砂川恵伸，湯永博之，源河いくみ，照屋勝治，立川夏夫，菊池 嘉，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：重症AIDS患者に発症した腓骨筋膿瘍の一例，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 5) 吉田邦仁子，上田晃弘，田沼順子，矢崎博久，川田真幹，本田美和子，湯永博之，源河いくみ，照屋勝治，立川夏夫，菊池 嘉，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：EBV関連リンパ増殖性疾患を呈したHIV感染症の1症例，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 6) 蜂谷敦子，児玉栄一，松岡佐織，土屋亮人，立川夏夫，安岡 彰，満屋裕明，松岡雅雄，木村 哲，岡 慎一：新規感染患者から検出された新たなネビラピン(NVP)耐性変異について，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 7) 矢崎博久，上田晃弘，吉田邦仁子，田沼順子，砂川恵伸，源河いくみ，照屋勝治，立川夏夫，菊池 嘉，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：当セン

ターにおけるd4Tを含んだ抗HIV療法患者の高乳酸血症合併について，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.

- 8) 安岡 彰：カリニ肺炎の概要およびHIV感染者における病態，第13回日本臨床微生物学会総会，東京，2002.
- 9) 照屋勝治，上田晃弘，吉田邦仁子，砂川恵伸，田沼順子，矢崎博久，湯永博之，源河いくみ，立川夏夫，菊池 嘉，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：Efavirenz(EFV)を含んだHAARTの長期成績に関する検討，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 10) 菊池 嘉，小池和彦，矢崎博久，田沼順子，吉田邦仁子，上田晃弘，川田真幹，本田美和子，源河いくみ，湯永博之，照屋勝治，立川夏夫，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：HIV，HCV合併血友病患者に対するPEG-IFN α 2aとリバビリンの併用療法，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 11) 菊池 嘉，塚田訓久，矢崎博久，源河いくみ，照屋勝治，立川夏夫，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：HIV，HCV重複感染に対するインターフェロン+リバビリンの効果，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.
- 12) 畠山修司，森澤雄司，安岡 彰，岡 慎一，木村 哲：エイズ診療拠点病院における日和見感染症・エイズ指標疾患の動向，第16回日本エイズ学会学術集会，名古屋，2002.
- 13) 安岡 彰：ICD講習会C「針刺し事故防止にむけて」3. 血液暴露後の職業感染防止対策について，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.
- 14) 田中真理，菊池 嘉，安岡 彰，平林義弘，岡 慎一：HIV-1/HCV感染者におけるHCV core peptide刺激により特異的に産生される末梢血リンパ球中のサイトカインの解析，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.
- 15) 砂川恵伸，岡 慎一，安岡 彰，菊池 嘉，立川夏夫，照屋勝治，源河いくみ，川田真幹，中島由紀子，田沼順子，矢崎博久，石崎有澄美，木村 哲：AIDS患者においてLopinavir/ritonavir(LP V)により誘導されたと思われる重症不整脈の2例，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.
- 16) 土屋亮人，平林義弘，安岡 彰，立川夏夫，菊池 嘉，源河いくみ，照屋勝治，木村 哲，岡 慎一：RTV/SQV併用療法における短期投与患者と長期投与患者のSQV血中濃度の検討，第76回日本感染症学会総会，東京，2002.

- 17) 川田真幹, 石崎有澄美, 田沼順子, 中島由紀子, 矢崎博久, 砂川恵伸, 照屋勝治, 源河いくみ, 立川夏夫, 菊池 嘉, 安岡 彰, 岡 慎一, 木村 哲: AIDS関連悪性リンパ腫7例の臨床的検討, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 18) 中島由紀子, 田沼順子, 石崎有澄美, 川田真幹, 矢崎博久, 砂川恵伸, 源河いくみ, 照屋勝治, 立川夏夫, 菊池 嘉, 安岡 彰, 岡 慎一: HIV-1患者に認めた進行性多巣性白質脳症における検討, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 19) 矢崎博久, 中島由紀子, 砂川恵伸, 川田真幹, 田沼順子, 石崎有澄美, 源河いくみ, 照屋勝治, 立川夏夫, 菊池 嘉, 安岡 彰, 岡 慎一, 木村 哲: 当センターにおける新規抗HIV療法の変遷について, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 20) 井田節子, 立川夏夫, 菊池 嘉, 源河いくみ, 照屋勝治, 安岡 彰, 木村 哲: 抗ウイルス剤治療前後の血中HIVDNA量の推移について, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 21) 立川夏夫, 岡 慎一, 安岡 彰, 菊池 嘉, 照屋勝治, 源河いくみ, 矢崎博久, 中島由紀子, 砂川恵伸, 田沼順子, 石崎有澄美, 木村 哲: 1年間に初期HIV感染症と診断された14症例の検討, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 22) 田沼順子, 川田真幹, 石崎有澄美, 砂川恵伸, 中島由紀子, 矢崎博久, 照屋勝治, 源河いくみ, 立川夏夫, 菊池 嘉, 安岡 彰, 岡 慎一: 当院における外国人HIV感染症例の検討, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 23) 安岡 彰, 田沼順子, 照屋勝治, 源河いくみ, 立川夏夫, 菊池 嘉, 前崎繁文, 河野 茂, 岡 慎一: アゾール耐性*C.albicans*による食道カンジダ症に対して新規抗真菌薬FK-463が有効であった1例, 第76回日本感染症学会総会, 東京, 2002.
- 24) 立川夏夫, 上田晃弘, 吉田邦仁子, 田沼順子, 矢崎博久, 鴻永博之, 源河いくみ, 照屋勝治, 菊池 嘉, 安岡 彰, 岡 慎一, 木村 哲: Lopinavir/ritonavir使用40例の臨床的効果, 第16回日本エイズ学会学術集会, 名古屋, 2002.
- 院平成13年度HIV感染症研修会, 厚生労働省, 東京, 2002. 2.
- 4) 安岡 彰: HIV感染症における患者サービスと心のケア, 埼玉医科大学AIDS対策研修会, 所沢, 2002. 3.
- 5) 安岡 彰: 血液で媒介する感染症, 平成14年度富山医科薬科大学公開講座, 富山, 2002. 6.
- 6) 安岡 彰: 血液媒介感染, 平成14年度院内感染対策講習会, 日本感染症学会/厚生労働省, 東京, 2002. 9.

◆ その他

- 1) 安岡 彰: ケースカンファランス(HIV/AIDS) 第14回臨床感染症学研修, 国立国際医療センター国際医療協力局, 東京, 2002. 2.
- 2) 安岡 彰: HIV診療の現状と今年の進歩, 平成13年度東北ブロック都道府県エイズ拠点病院等連絡会議, 仙台, 2002. 1.
- 3) 安岡 彰: 針刺し事故とHIV感染防御, 国立病